

1914



1918



1923



1925

企画展

ポスターに映る
大正・昭和初期の女性たち

1933



1939



★

1940



★

1944



★

百貨店の美人画ポスター、
大正デモクラシーの潮流とモダンガール、
昭和初頭の経済不安を生きた働く女性、
戦争協力を呼びかける「銃後」の女性たち…

大正・昭和初期のポスターを通して、
この時代を生きた女性たちの姿と、当時の社会の姿を考えます。

令和8年 2026 11.21 土
▶ 令和9年 2027 2.23 祝

青木村歴史文化資料館
（五島慶太未来創造館に隣接）
〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】9時～17時（最終入館16時30分）
【休 館 日】月曜日・祝日の翌日・年末年始（詳細はホームページをご覧ください）
【入 館 料】無 料

主 催：青木村歴史文化資料館・青木村教育委員会
★＝阿智村寄託資料

開館日カレンダー▶
（五島慶太未来創造館に準じます）

1914 1918 1923 1925

企画展

ポスターに映る 大正・昭和初期の女性たち

令和8年 2026 11.21 土
▶ 令和9年 2027 2.23 祝

1933 1939 1940 1944

明治後半、欧米から輸入された多色石版印刷（リトグラフ）による大判広告紙「ポスター」が、日本でも制作されるようになりました。大正に入り印刷技術が発達すると、官民問わず専門部署が設置されるなど、よりポスター制作に力を注ぐようになっていきます。大判サイズで視覚に強く訴えるポスターは、テレビもインターネットもない時代の代表的な広告ツールとして重要視され、人々の行動を動かす力を持つようになりました。そして同時に、社会の流行や価値観を色濃く反映する「時代の鏡」にもなっていったのです。

本企画展では、上田地域で郵便局を営んでいた旧家より寄託頂いたポスターのうち、女性が描かれたものを中心に、阿智村よりお借りした4点を加え、大正4年（1915）から昭和19年（1944）に発行されたポスターを展示します。

そこに映るのは、百貨店の呉服に身を包んだ日本美人、大正デモクラシーの潮流の中で登場した短髪洋装のモダンガール、経済不安の中で懸命に働く女性、戦争への協力を呼びかける「銃後」の女性など、それぞれの時代を象徴するような女性たちの姿です。

いち農村の郵便局に飾られていたポスターだけで時代の全てを語ることはできませんが、これらのポスターを眺めていると、当時の女性たちの憧れや現実とともに、広告として背負ったイメージと、その背景にある世相が、鮮明に浮かび上がってきます。

ポスターを通して、大正・昭和初期を生きた女性たちの姿と、当時の社会の姿を考えます。

〈ワークショップ〉

プラバンでつくる
杉浦非水図案マグネット

12.5 土

①10:00～12:00
②14:00～15:00

①②の中のご都合の良い時間にお越しください。

会場：
青木村歴史文化資料館



〈講演会〉

（青木村生涯学習成人講座連携事業）
「ポスターに映る 大正・昭和初期の女性たち」

2.7 日

大正・昭和初期の代表的な広告ツールであり、時代を映す鏡でもあったポスターを通して、当時を生きた女性たちの姿と、その背景にある社会の姿を考えます。

講　師：青梅市立美術館　学芸員
　　田島 奈都子 氏
時　間：13:30～15:00
会　場：青木村文化会館

〈トークイベント〉

「『時報』にみる 上田小県の女たち」

1.17 日

大正から終戦までの激動の時代を、上小地域の女性たちはどのように生きていたのでしょうか。
上小各地で発行された「時報」から読み解きます。

講　師：上田小県近現代史研究会
　　桂木 惠 氏
時　間：10:00～11:30
会　場：青木村歴史文化資料館

青木村歴史文化資料館
（五島慶太未来創造館に隣接）
〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢3270-3
TEL・FAX 0268-49-0303

【開館時間】9時～17時（最終入館16時30分）
【休 館 日】月曜日・祝日の翌日・年末年始（詳細はホームページをご覧ください）
【入 館 料】無 料

主　催：青木村歴史文化資料館・青木村教育委員会
協　力：阿智村

開館日カレンダー▶
（五島慶太未来創造館に準じます）